

## 米国 原油価格下落により減速（08年7月輸入物価）

発表日：2008年8月18日（月）

～目先は大幅減速するも、その後は緩やかな上昇が続く公算～

第一生命経済研究所 経済調査部

近江澤 猛(おおみさわ たけし)

03-5221-4526

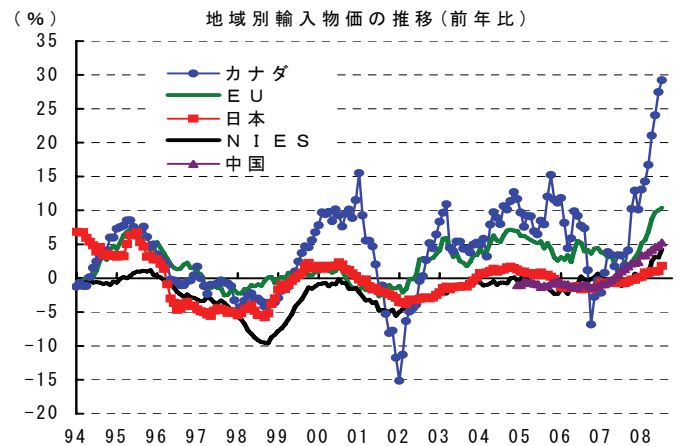
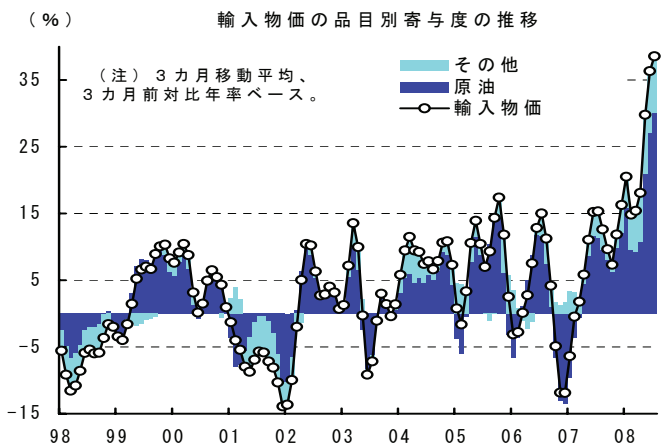
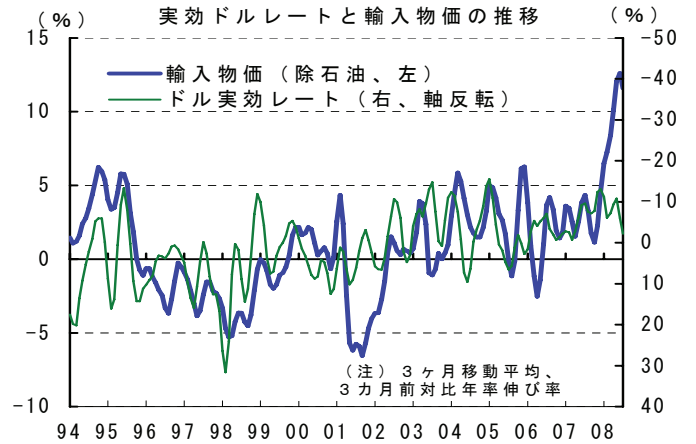
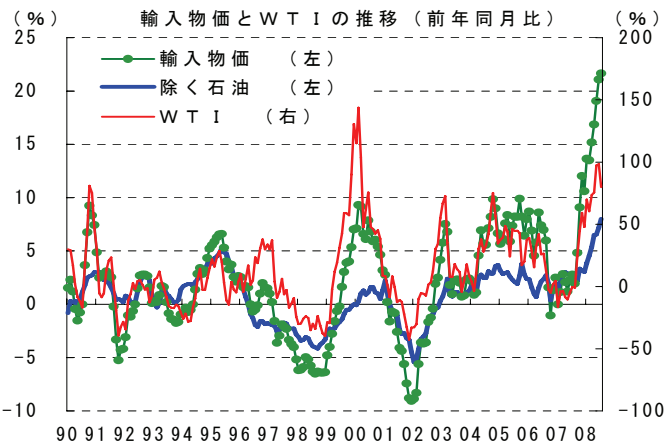
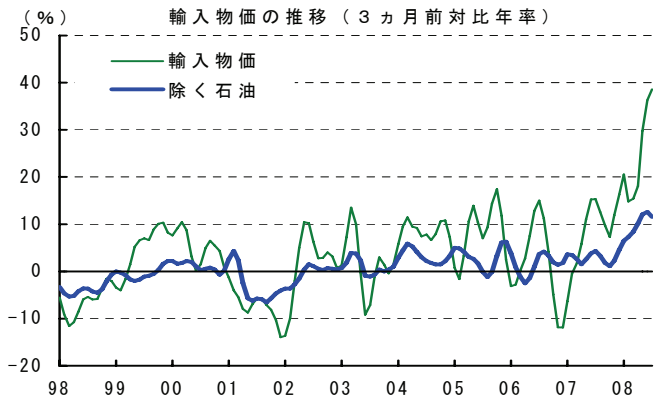
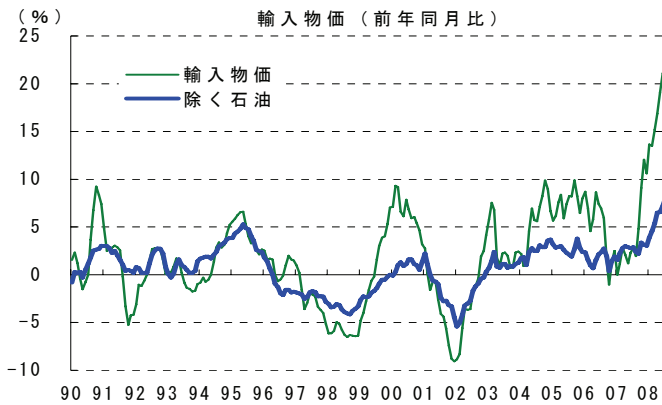
- 08年7月の輸入物価は前月比+1.7%と前月同+2.9%から大幅に減速したが、市場予想の同+1.0%を上回り依然として高い伸びが続いている。前年同月比は+21.6%と82年の統計開始以来最大の伸びとなった。7月に原油価格が下落に転じたのをうけ、石油・同製品が前月比+4.0%（寄与度+1.1%）と前月同+8.9%（寄与度+2.4%）から大幅に減速した影響で、輸入物価は押し下げられる格好となった。石油を除いた輸入物価は前月比+0.9%と前月から伸びは横ばいとなったが、工業用原料をはじめ、飲食料、資本財、消費財と幅広く輸入物価は上昇した。
- 輸入財の分類別にみると、飲食料が前月比+1.5%と前月同+1.7%からやや鈍化したが、ほぼ横ばいで推移し、依然として高い伸びが続いている。工業用原料は同+3.3%と前月同+6.6%から原油価格下落の影響で大幅鈍化したが、耐久財原料同+1.8%、非耐久財原料（石油除く）同+3.0%と石油以外でも金属資源高、エネルギー高の影響を受けた製品価格の上昇が続いている。資本財は同+0.3%と前月同▲0.1%から上昇に転じた。消費財は同+0.3%と前月同+0.1%から小幅上昇した。
- 輸入元地域別の輸入物価は、カナダが前月比+1.7%（前月同+3.9%）、メキシコが同+1.4%（前月同+3.0%）、中東が同+3.0%（前月同+6.9%）と原油価格の下落により前月から大幅鈍化した。EUは同+0.7%（前月同+0.7%）と前月から横ばいながら、原油価格の下落により3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では+13.4%と前月同+16.0%から鈍化した。日本が同+0.5%（前月同+0.2%）、NIE Sが同+1.4%（前月同+0.2%）とハイテク製品の価格は低下傾向にある一方、一次金属、機械、有機化学製品などの上昇の影響で前月から加速したとみられる。中国は同+0.9%（前月同+0.6%）と人民元の対米ドルでの増価から輸入物価の上昇が続いている。
- 今後の輸入物価だが、上昇を続けてきた原油価格が7月に下落に転じ、足元でも下落基調が続いているため、原油価格の下落が輸入物価全体の押し下げに大きく寄与するとみられる。また、欧州、アジアをはじめ、世界経済の減速感が強まったことから、足元で為替の実効レートが米ドル高に振れており、輸入物価には一層の下押し圧力がかかるとみられ、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率でみた輸入物価は8、9月にかけて大きく減速する公算が大きい。しかし、中長期的には新興国需要の拡大から原油をはじめとするエネルギー、資源価格が大きく下げ続けることは期待し難く、足元の原油価格下落による下押し圧力も徐々に弱まること、また、為替面についても米国景気が減速するもと、実効レートの本格的な上昇は期待できないことから、輸入物価の押し下げ圧力は徐々に弱まるとみられ、10-12月期以降は緩やかな上昇が続くとみられる。

輸出入物価 (U.S. Import and Export Price Indexes)

	輸出物価	輸入物価					資本財	自動車	消費財	飲食料	実効ドルレート
		除石油	工業用原料	石油							
07/08	+0.2	▲0.3	+0.0	▲1.3	▲1.5	+0.2	+0.2	+0.3	+0.5	+0.5	
07/09	+0.3	+0.6	▲0.1	+1.2	+3.1	+0.1	+0.2	+0.1	+1.3	▲1.4	
07/10	+0.8	+1.5	+0.6	+3.4	+5.0	+0.1	+0.4	+0.1	+1.1	▲2.1	
07/11	+0.9	+3.2	+0.7	+7.9	+12.4	+0.1	+0.6	+0.2	+0.2	▲1.4	
07/12	+0.5	▲0.2	+0.4	▲0.7	▲1.8	+0.1	+0.6	+0.2	+0.7	+0.9	
08/01	+1.2	+1.5	+0.7	+3.3	+4.2	▲0.3	+0.3	+0.5	+2.8	▲0.8	
08/02	+0.9	+0.2	+0.6	+0.4	▲1.3	+0.1	+0.1	+0.4	▲0.2	▲0.8	
08/03	+1.6	+3.1	+1.1	+7.1	+10.1	+0.2	+0.2	+0.5	+2.9	▲2.0	
08/04	+0.5	+2.8	+1.3	+6.1	+8.1	+0.9	+0.4	+0.6	+1.3	▲0.3	
08/05	+0.3	+2.8	+0.6	+6.4	+9.6	+0.3	+0.0	+0.2	+0.9	+0.4	
08/06	+1.0	+2.9	+0.9	+6.6	+8.9	▲0.1	+0.1	+0.1	+1.7	+0.3	
08/07	+1.4	+1.7	+0.9	+3.3	+4.0	+0.3	+0.1	+0.3	+1.5	▲0.7	

(出所) 労働省 (Department of Labor)

(注) 未季調、前月比、%。実効レートはFRB算出ベース。



(出所) 米労働省、Reuter EcoWinより当社作成

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。